



—いま、振り返る—

多くの人々を
迎えるまち
飛驒高山

国と国との自由な往来が制限されたコロナ禍、市内の事業者の皆さんに出演いただいたメッセージ動画を世界に向けて発信しました。高山を旅行した時の思い出や再来訪を待ち望む声など、約400件のコメントが寄せられました。

今から4年前のゴールデンウィーク、屋間の古い町並には全く人がいませんでした。その光景は、典型的な地方都市の姿だったのかもしれない…。

高山では、数十年にわたりたくさんの人々に訪れていただくための取り組みを行ってきました。人を迎えるということとは容易なことではありませんし、文化、言葉、宗教などが異なる海外からの旅行者を迎えるにはなおさらです。それを地道に続けてきたのが、高山の人たちであり、伝統文化・景観・食文化・里山や自然を守り続けてきたのも高山の人たちです。

コロナ禍を経た今、古い町並をはじめ、市内のあらゆる場所で旅行者の姿を見かけるようになりました。それに伴い、人材不足、新たな商業施設や宿泊施設の進出への対応など、取り組むべき事が沢山あります。市民や事業者の皆さんとともに、真剣に向き合って解決していきたいと考えています。

国内外からたくさん旅行者を迎えるこのまちは、高山を愛する市民の皆さんにより支えられています。今回、多くの旅行者を受け入れてきたこれまでの歴史や、生活との関わりを皆さんと一緒に振り返ってみましょう。

いつの時代も 高山の人は“あたたかく” 世界の人々を 迎えてきました



'88飛騨・高山 食と緑の博覧会
総入場者 701,541人
「輝く飛騨」を国内外にアピール



1966年(昭和41年)
平湯温泉でくつろぐ
デンバー市親善団一行

なんと、
今から約90年前には
英語のパンフレットが
ありました



1937年(昭和12年)の高山市を紹介するパンフレット



1934年(昭和9年)
高山本線全線開通

岐阜県下で
初めて

1960年(昭和35年)
デンバー市との
姉妹都市提携

1971年(昭和46年)
観光客数100万人突破

1970年(昭和45年)
国鉄キャンペーン
「ディスカバー・ジャパン」

1988年(昭和63年)
「'88飛騨・高山 食と緑の博覧会」開催

2021年(令和3年)
新型コロナウイルス感染症の
影響により旅行者数は激減

2024年(令和6年)
外国人宿泊者数が
過去最高の77万人を記録

1986年(昭和61年)
「国際観光都市」宣言

2007年(平成19年)
「ミシュラン実用旅行ガイド」で
飛騨高山を3つ星として紹介



2016年(平成28年)
市内飲食店が、世界の旅行者が利用する
口コミサイトの「外国人に人気の日本のレ
ストラン2016」で全国1位に

支える

誰もが安心して過ごせるまちを目指して

高山警察署では、観光客のトラブルや事故対応、イベ
ント開催時の交通規制対応など、観光客が増加する中、
地域の安全と秩序維持に取り組んでいます。

「カタコトでもその国の言葉で話しかけると安心される
んですよ」と語るのは駅前交番に勤務する吉本さん。高
山祭の際には、混雑やスリに関する注意喚起を9言語で
アナウンスします。

「海外と日本では、文化も習慣も異なるもの。マナーに
関することは、少し
でも気持ちよく高山
を観光していただく
ために、協力をお
願いするようなユア
ンスで伝えるように
心掛けています。」

地域医療を守る、外国人患者を支える

高山赤十字病院の令和6年度の外国人患者の受け入れ
は、過去最多の約600人となる見込み。

地域医療を守りながら、医療機関として外国人患者受
け入れのため、院内には多言語の案内板設置のほか、医
療電話通訳の仕組みも導入。時には外国人入院患者の帰
国の相談にも対応するなど、国籍の分け隔てなく献身的
な対応をしています。

「在住・訪日外国人が増える中、病院スタッフの負担も
年々重くなっていま
す。多くの方々のご
理解やご協力をいた
だきながら、地域医
療を守っていきたく
と考えています。」



高山赤十字病院
経営企画課 課長
あらかわ ゆきお
荒川 幸雄さん



高山警察署 駅前交番
訪日外国人対応業務
専門職
よしもと ひろゆき
吉本 博之さん



学びの場として

市内の高校では、インターネットを使った情報発信方法を学び、飲食店のサポートに取り組みました。

(写真 左) 飛騨高山高校における名古屋大学による授業の様子



西小学校では、児童が祭やおすめのお土産などを紹介するパンフレット(日・英)を作り、旅行者や地域の方に配りました。

(写真 上) パンフレットを地域の方に渡している様子

誰もが快適に



障がいのある方を対象に市内の観光施設を安心して利用するためのモニターツアーを実施しました。いただいたご意見をこれからの地域づくりに活かします。

世界の人々の 活力を 高山の力に

より便利に



世界から旅行者が来ることで、交通網も発展してきました。福井県や長野県方面などに、さらに行きやすくなることが期待されます。

高山の価値を世界に



飛騨春慶・一位一刀彫などの伝統工芸品や地酒などの製作・製造の現場に旅行者を招き、その魅力や価値を伝える取り組みが各所で行われています。

いろいろな産業が潤うように

高山に訪れた人々が、バスやタクシーに乗り、朝市やスーパーで買い物をし、食事をとり、宿に泊まる。こうした旅行者により年間約1000億円以上の消費が生まれ、宿泊や飲食業のほか、農業や日本酒、家具など幅広い産業に良い影響をもたらしています。

※令和5年の観光消費額 1041億5243万2千円
(令和5年観光統計(観光課))

実は

市の観光関係の予算は、予算全体の約1.7%(令和7年度)です。高山の観光は、市民や事業者の皆さんの取り組みにより支えられています。

まちかど インタビュー



ベルギーから

なぜ高山に来ましたか？

日本の故郷に行きたくて、高山に来ました。高山の印象は？

道に迷った時に、この町の人に声をかけてもらえたのがうれしかったです。私たちの国には、高山のような高い山はないので、町から見える山的美しさにも感動しました。

どこに行きましたか？

バスで飛騨大鍾乳洞に行ってきました。とても迫力がありました。



フランスから

高山の印象は？

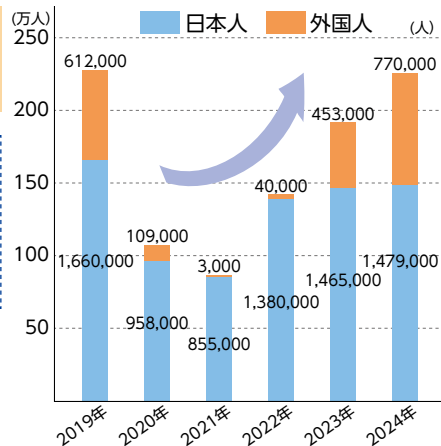
木造建築がとても素敵でした。雪の中のお寺や神社の佇まいも美しく感動しました。

これからどこに行きますか？

明日は平湯温泉に行く予定です。温泉に入るのを楽しみにしています。

市内年間 宿泊者数

2024年
入込客数
442万2千人
うち年間宿泊者数
224万9千人



人口の約27倍もの旅行者が泊まっています。特に外国人は、地方都市でありながら神戸市や那覇市、箱根町などの全国有数の都市や観光地と同じくらいの人数が宿泊しています。



—そして、これから—

“かけがえのないこの日常が わたしたちの宝物”



「with Respect」を合言葉に。

高山を訪れる旅行者には、市民の皆さんが長年にわたる不断的努力によって培ってきた伝統文化や町並、自然などに対して敬意をもってもらいたい。私たちの日常生活に対して配慮してもらいたい。

そして、私たちも遠方より高山を訪れる人を温かい気持ちでお迎えしたい。

この思いから「with Respect」(ウィズ・リスペクト/敬意をもって)を合い言葉に、来訪者へのお願いを伝えていきます。



with Respect

「敬意をもって」

Care for Locals, Environment, and Tradition

「地元の人(の生活)、環境、伝統を大切に」

Walk Mindfully

「周りに配慮して、譲り合って歩く」

Carry Your Trash

「ごみを持ち帰ること。まちをきれいに保つことに協力してください」

Stay Quiet

「日が暮れたらご近所のためにも、静かに過ごしてください」



看板の設置

大型バスを駐車する主要な駐車場に看板を掲げています。



バス車内での動画放映

外国人旅行者向けの動画を作成しました。白川郷線のバス車内で、4月より放映します(写真はイメージ)。



YouTubeでの動画配信

高山への来訪を歓迎し、市民生活に寄り添って過ごしていただくことを願って動画を配信しています。



市民対象の観光に関するアンケート

令和5年度に市民対象の観光に関するアンケートを行いました。

今後もこうした調査を行い、その結果を観光地域づくりに活かしていきます。

令和5年度 市の観光に関する意識調査結果 ▶



飛騨高山観光ビジョン2025～2029

(一社)飛騨・高山観光コンベンション協会では、市と連携して「飛騨高山観光ビジョン 2025～2029」を作りました。「かけがえのないこの日常が わたしたちの宝物」をコンセプトに取り組みを行っています。

(一社)飛騨・高山観光コンベンション協会[HP]▶



問合せ 高山市 飛騨高山プロモーション戦略部 観光課 ☎35-3145

編集・発行/高山市市長公室広報聴課
〒506-8555 岐阜県高山市花岡町2丁目18番地
TEL/0577-32-3333(代)
FAX/0577-36-2060 (市長室直通)
FAX/0577-35-3174 (広報聴課直通)

E-mail/kouhou@city.takayama.lg.jp
HP/https://www.city.takayama.lg.jp/
防災行政無線の内容は電話でも確認できます
☎050-5536-7071



QRコードは㈱デンソーウェブの登録商標です。